

令和元年度病害虫発生予報第12号

長崎県病害虫防除所長

向こう1か月間における主な病害虫の発生動向は次のように予想されます。

農作物名	病害虫名	発生程度	
		現況	予想
麦類	うどんこ病	並	並
	赤かび病 (防除情報第21号継続)	—	並
ばれいしょ	疫病 (防除情報第22号)	—	並
きゅうり	べと病	やや多	やや多
	うどんこ病	少	少
	褐斑病	やや少	やや少
	菌核病	並	並
	灰色かび病	並	並
	ミナミキイロアザミウマ (防除情報第23号)	やや多	やや多
	コナジラミ類 (防除情報第23号)	並	やや多
トマト	黄化葉巻病	並	やや多
	灰色かび病	やや少	やや少
	コナジラミ類	やや多	多
いちご (本圃)	うどんこ病	並	並
	灰色かび病	やや多	やや多
	アブラムシ類	並	やや多
	ハダニ類 (注意報第10号)	多	多
	アザミウマ類 (注意報第11号)	多	多
たまねぎ	白色疫病	やや少	やや少
	べと病 (注意報第12号)	多	多
	ネギアザミウマ	やや多	多
かんきつ	そうか病	並 (越冬病斑)	並
	かいよう病	やや多 (越冬病斑)	やや多
	ミカンハダニ	やや多	やや多
果樹共通	クワゴマダラヒトリ	並	並
茶	カンザワハダニ (防除情報第24号)	やや多	多

【発生予報】 本文の () 内は平年値

麦類

1. うどんこ病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

ア 3月前期の巡回調査(大麦9筆、小麦15筆)の結果、大麦・小麦のいずれも発生を認めなかった(大麦:発生を認めない、小麦:過去10か年平均 発病茎率0.0%、発生圃場率0.7%)。

イ 3月3半旬の県予察圃場（無防除、諫早市）調査の結果、発生を認めなかった（発生を認めない）。

2. 赤かび病

令和2年3月4日付け**病害虫発生予察防除情報第21号**を継続。

なお、その後の発生状況等については、以下のとおりである。

(1) 発生状況等

ア 3月前期の巡回調査（大麦9筆）の結果、発生を認めなかった（発生を認めない）。

イ 3月3半旬の県予察圃場（無防除、諫早市）調査の結果、発生を認めなかった（発生を認めない）。

ばれいしょ

1. 疫病

令和2年3月16日付け**病害虫発生予察防除情報第22号**による。

きゅうり

1. べと病

(1) 予報内容

発生程度 やや多

(2) 予報の根拠

3月前期の巡回調査（11筆）の結果、発病葉率は7.1%（4.0%）、発生圃場率は54.5%（30.5%）であった。

2. うどんこ病

(1) 予報内容

発生程度 少

(2) 予報の根拠

3月前期の巡回調査（11筆）の結果、発病葉率は0.6%（6.7%）、発生圃場率は18.2%（62.3%）であった。

3. 褐斑病

(1) 予報内容

発生程度 やや少

(2) 予報の根拠

3月前期の巡回調査（11筆）の結果、発病葉率は0.3%（1.3%）、発生圃場率は9.1%（7.3%）であった。

4. 菌核病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

3月前期の巡回調査（11筆）の結果、発生を認めなかった（10か年平均発病果率0.0%、発生圃場率1.7%）。

5. 灰色かび病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

3月前期の巡回調査（11筆）の結果、発生を認めなかった（発病果率0.1%、発生圃場率4.3%）。

6. ミナミキイロアザミウマ

令和2年3月16日付け**病害虫発生予察防除情報第23号**による。

7. コナジラミ類

令和2年3月16日付け**病害虫発生予察防除情報第23号**による。

トマト

1. 黄化葉巻病

(1) 予報内容

発生程度 やや多

(2) 予報の根拠

ア 3月前期の巡回調査（12筆）の結果、発病株率は0.2%（0.4%）、発生圃場率は25.0%（16.7%）であった。

イ 向こう1か月の気温は高い見込みであり、本病の媒介虫であるタバココナジラミの発生に好適である。

(3) 防除上注意すべき事項

タバココナジラミの防除を徹底するとともに、ハウス内の発病株は二次伝染源となるので、見つけ次第直ちに抜き取り、施設外に持ち出し適正に処分する。

2. 灰色かび病

(1) 予報内容

発生程度 やや少

(2) 予報の根拠

3月前期の巡回調査（12筆）の結果、果実での発生は認めなかった（0.2%）。発病葉率は0.1%（過去7か年平均 0.9%）、発生圃場率は16.7%（同 28.3%）であった。

3. コナジラミ類

(1) 予報内容

発生程度 多

(2) 予報の根拠

ア 3月前期の巡回調査（12筆）の結果、寄生葉率は2.0%（1.2%）、発生圃場率は50.0%（24.0%）であった。

イ 向こう1か月の気温は高い見込みであり、本虫の発生に好適である。

(3) 防除上注意すべき事項

ア 黄色粘着板等で本虫の発生状況を把握し、防除に努める。

イ 薬剤抵抗性発達防止のため、同一系統の薬剤を連用しない。

ウ マルハナバチを使用するハウスでは、影響の少ない薬剤を使用する。

エ 施設内および周辺の雑草は、本虫の増殖源となるので除草を徹底する。

いちご

1. うどんこ病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

3月前期の巡回調査（26筆）の結果、葉および果実での発生を認めなかった（発病株率0.0%、発病果率0.0%、発生圃場率1.4%）。

2. 灰色かび病

(1) 予報内容

発生程度 やや多

(2) 予報の根拠

3月前期の巡回調査（26筆）の結果、発病果率は0.2%（0.1%）、発生圃場率は30.8%（18.1%）であった。

(3) 防除上注意すべき事項

- ア 하우스内が多湿にならないよう曇雨天時や気温が低い日もできるだけ換気を行う。
- イ 被害果等の発生部位は伝染源になるので、早期に取り除きハウス外へ持ち出し処分する。
- ウ 予防的な薬剤防除に努める。曇雨天が続く場合はハウス内湿度が上がるのを防ぐため、くん煙剤を利用する。
- エ 薬剤耐性発達防止のため、同一系統の薬剤（平成31年長崎県病害虫防除基準P216～219の「作用機構による分類（FRAC）」参照）を連用しない。

3. アブラムシ類

(1) 予報内容

発生程度 やや多

(2) 予報の根拠

- ア 3月前期の巡回調査（26筆）の結果、寄生株率は0.2%（0.3%）、発生圃場率は11.5%（6.9%）であった。
- イ 向こう1か月の気温は高い見込みであり、本虫の発生に好適である。

(3) 防除上注意すべき事項

- ア 特に花のがくに寄生しやすいので、発生を認めたら初期のうちに防除を行う。
- イ 薬剤のかけむらがあると防除効果が低下するので、葉裏まで十分に散布する。
- ウ 薬剤抵抗性発達防止のため、同一系統の薬剤（平成31年長崎県病害虫防除基準P220～223の「作用機構による分類（IRAC）」参照）を連用しない。

4. ハダニ類

令和2年3月16日付け**病害虫発生予察注意報第10号**による。

5. アザミウマ類

令和2年3月16日付け**病害虫発生予察注意報第11号**による。

たまねぎ

1. 白色疫病

(1) 予報内容

発生程度 やや少

(2) 予報の根拠

3月前期の巡回調査（16筆）の結果、発生を認めなかった（発生株率0.1%、発生圃場率5.0%）。

2. べと病

令和2年3月16日付け**病害虫発生予察注意報第12号**による。

3. ネギアザミウマ

(1) 予報内容

発生程度 多

(2) 予報の根拠

ア 3月前期の巡回調査（16筆）の結果、寄生株率は26.3%（16.7%）、発生圃場率は75.0%（58.3%）であった。

イ 向こう1か月の気温は高い見込みであり、本虫の発生に好適である。

(3) 防除上注意すべき事項

ア 圃場周辺の雑草は生息・増殖源となるので除去する。

イ 薬剤抵抗性発達防止のため、同一系統の薬剤（平成31年長崎県病害虫防除基準P270～271の「作用機構による分類（IRAC）」参照）を連用しない。

かんきつ

1. そうか病

(1) 予報内容
発生程度 並

(2) 予報の根拠
3月前期の巡回調査（36筆）の結果、旧葉での発生を認めなかった（発病葉率0.0%、発生圃場率2.4%）。

2. かいよう病

(1) 予報内容
発生程度 やや多

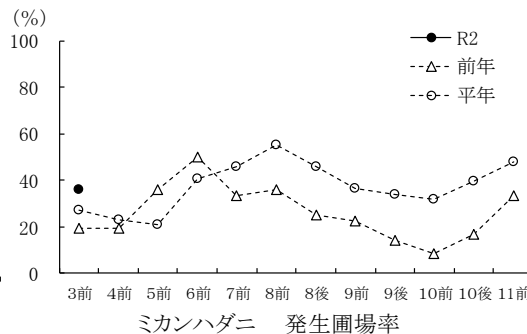
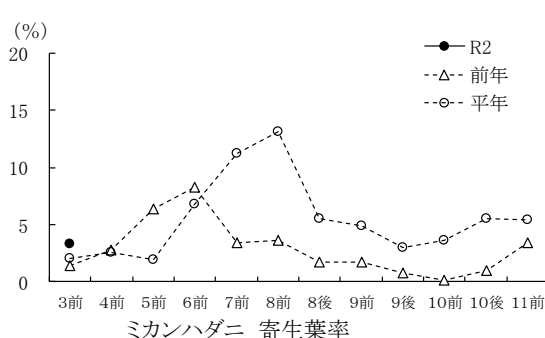
(2) 予報の根拠
3月前期の巡回調査（36筆）の結果、発病葉率（越冬病斑）は0.7%（0.2%）、発生圃場率は44.4%（6.5%）であった。

(3) 防除上注意すべき事項
ア 発病枝や葉を除去する。
イ 発芽前の薬剤散布が防除効果が高いので3月中に銅水和剤（クレフノン加用）を散布する。

3. ミカンハダニ

(1) 予報内容
発生程度 やや多

(2) 予報の根拠
ア 3月前期の巡回調査（36筆）の結果、寄生葉率3.3%（2.0%）、発生圃場率は36.1%（26.9%）で、一部多発圃場が見られた。
イ 向こう1か月の気温は平年より高く、本虫の発生に好適である。



果樹共通

1. クワゴマダラヒトリ

(1) 予報内容
発生程度 並

(2) 予報の根拠
令和元年10月に実施した産卵樹上（アカメガシワ、カラスザンショウ）における幼虫巢の発生調査の結果、県内12地区で発生程度は0.2であった

(平成21～30年の発生程度の平均値：0.2)。

※以下の基準により発生程度を達観で調査した。

調査基準：極多(5)、多(4)、中(3)、少(2)、極少(1)、無(0)

茶

1. カンザワハダニ

令和2年3月16日付け**病害虫発生予察防除情報第24号**による。

【参考】

気象

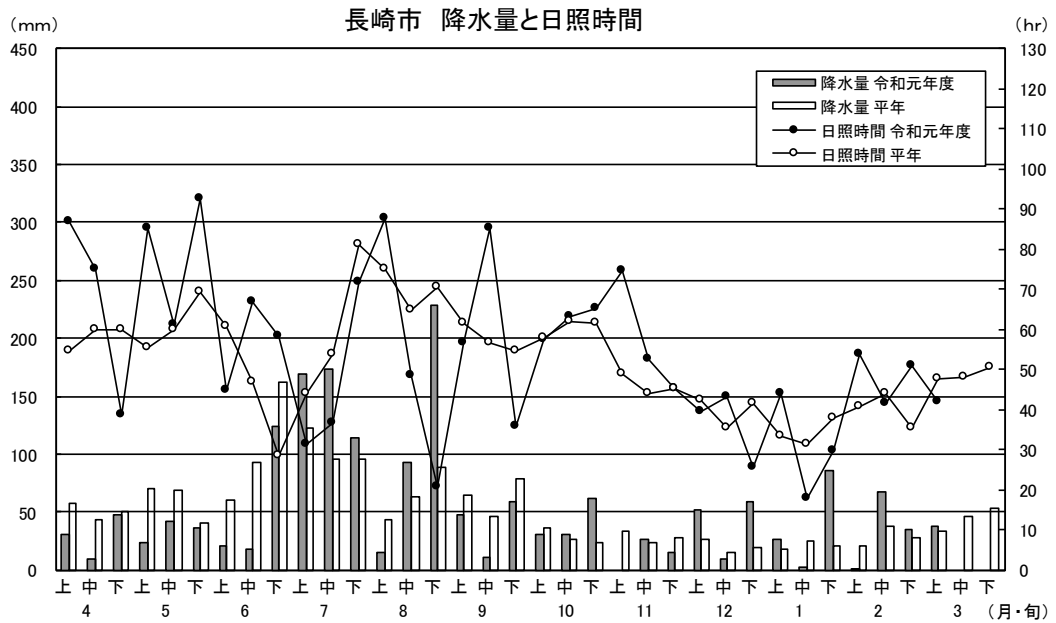
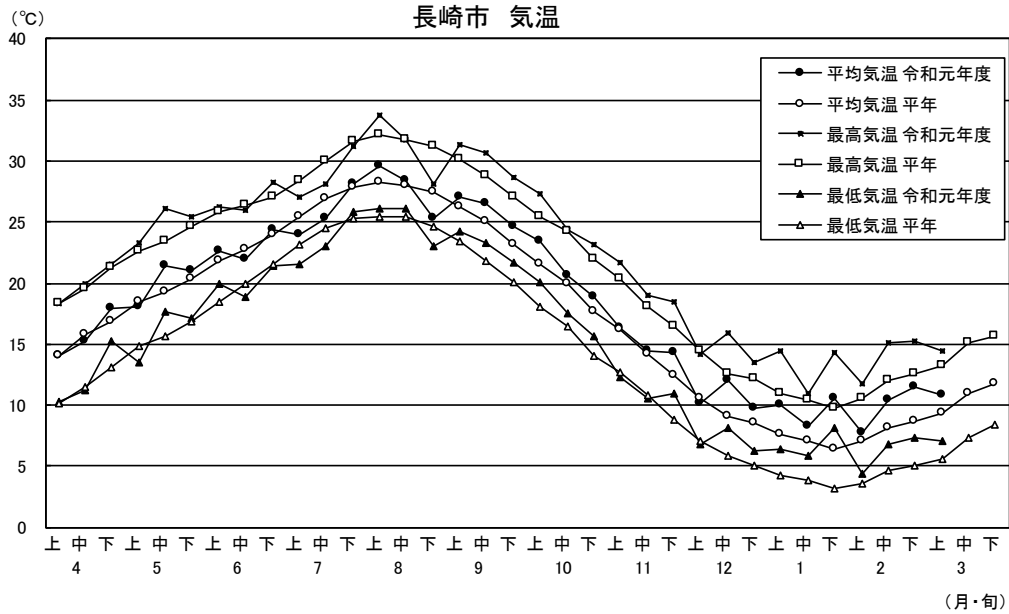
(令和2年3月12日発表 1か月予報 福岡管区気象台)

要素別確率

要素	低い (少ない)	平年並	高い (多い)
気温	10	20	70
降水量	30	40	30
日照時間	30	40	30

※予報対象地域：九州北部地域

令和元年度の気象経過（長崎地方気象台）



○長崎県病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「長崎県病害虫防除所ホームページ」アドレス：<http://www.jpnpn.ne.jp/nagasaki/>

○この情報に関するお問い合わせ

長崎県病害虫防除所 TEL：0957-26-0027

